

●趣旨

かつて先輩にRAWで撮ってRAW現像することを勧められたことがあります。これはPhotoshopを完全にマスターした人だけができるとても難しいことで、しかも面倒なことと思っていました。ある時、使用カメラのJPEGの色調に我慢ができなくなり、試しにRAWで撮影、そしてRAW現像を試みたところ、実に簡単にできてしまいました。RAW現像が難しくて面倒だなんてまるで嘘のよう……。

著者の過去の写真の大半はJPEGなので、改めて手を入れようとしても思うようにはいかないし、画像が痛むばかり。なんでデジタル写真の事始めからRAW現像しなかったのかと悔やむばかりです。

身の回りの方々にRAW現像を伺えば、過去の著者と同じ理由で未だRAW現像していないが大半のようです。そこで同じ思いをして欲しくないという超お節介心から本解説書を作ってみました。再度申し上げます、RAW現像は簡単です。予備知識は要りません、やってましよう、いきなりRAW現像。



上記は2003年8月に撮影したJPEG形式の写真です。左右はゆがみ、黒板塀の質感は出ず、しかも日傘は白飛びしています。今にして思えば、もしもこの時にRAWで撮影しておいたならば、この問題は全て解決できたでしょう。返すがえすも残念なことです。こういう思いはどなたにも味わって欲しくはありません。

●特徴

- ①最大の特徴は、カメラ・写真好きの人間が書いたRAW現像専用の解説書ということです。
- ②思いを込めて（目標を決めて）RAW現像すれば、いい写真はもっと良くなりそうな、NG写真はアートになりそうな気がしてきます。
- ③読後、Photoshop本体はRAW現像の後始末用アプリだとお感じになられるはずです。
- ④忙しい方（せっかちな方も）のために、RAW現像の内容が記録されているプリセットを添付してありますので、クリック一つで完成させることができるようにしました。
- ⑤あれもこれもできますという機能順の説明はしていませんが、復習用として機能別一覧を用意してあります。



RAW現像の基本である色温度・明瞭度等の調整をして望みのお肌の色に仕上げる方法を習得します。



露出オーバーな写真ですが「海からヴィーナス」という思いを込めてRAW現像したので救済できました。

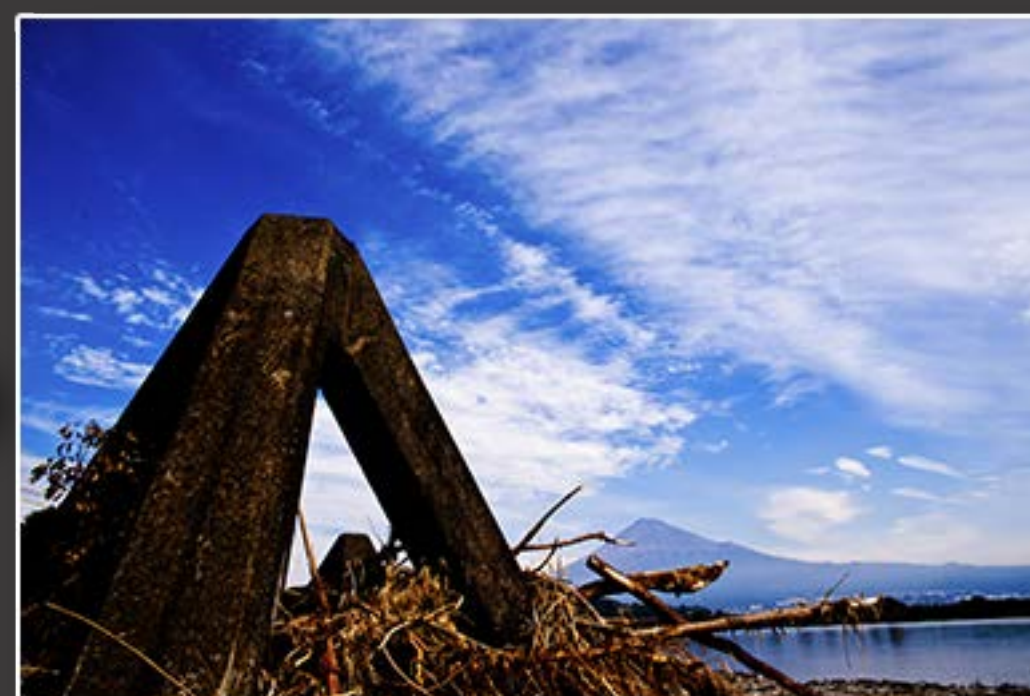
いきなりRAW現像・概要説明書



ホテルや宴会場にの写真は黄色くなりがち。これを色温度を調整して、特に花嫁さんをより美しくします。



色温度と色かぶり調整にて、ユリの木を讃える写真にしてみます。



ぼんやりした風景写真を、黒レベル、明瞭度等にてくっきりせ、富士川の荒れ模様も表す写真にします。



補正ブラシを使用して雪山らしい写真に仕上げます。



都会の濁った夜空を色温度等を調整してアートにしてみます。



ブレ、露出オーバー写真をアートにしてみます。

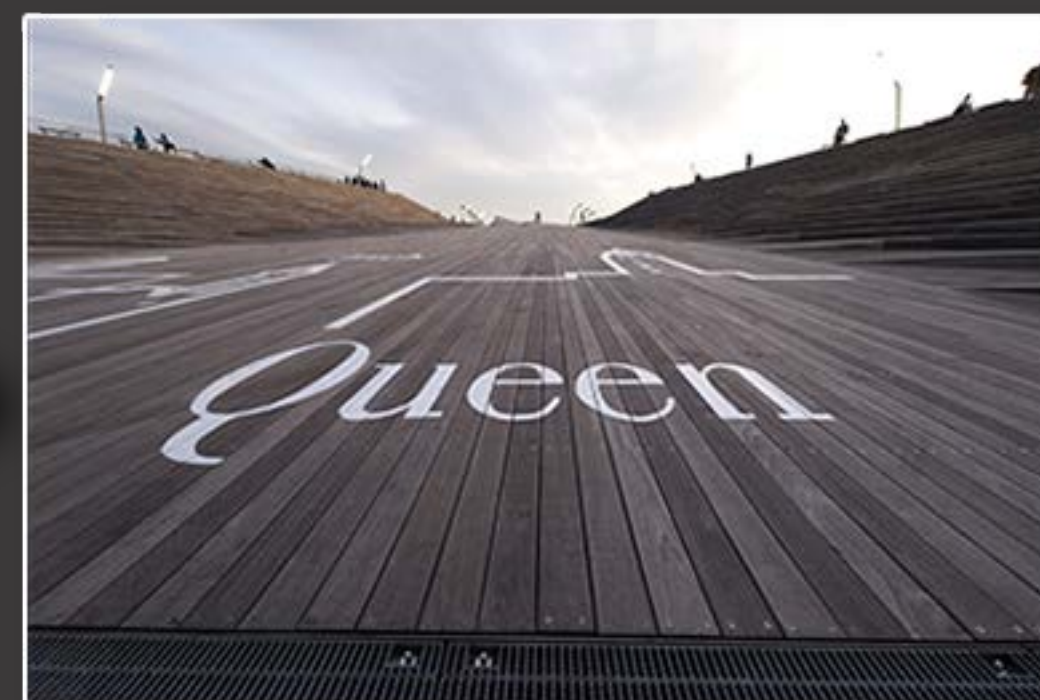
いきなりRAW現像・概要説明書



白いカードを利用して自動的に色味の調整を行います。



JPEGデータの白飛びは補正できませんが、少しHDR写真風にしてみます。



レンズ補正で曲がった画像を補正してみます。



RAW現像でモノクロ写真に挑戦。Photoshopの機能との比較をしてみます。

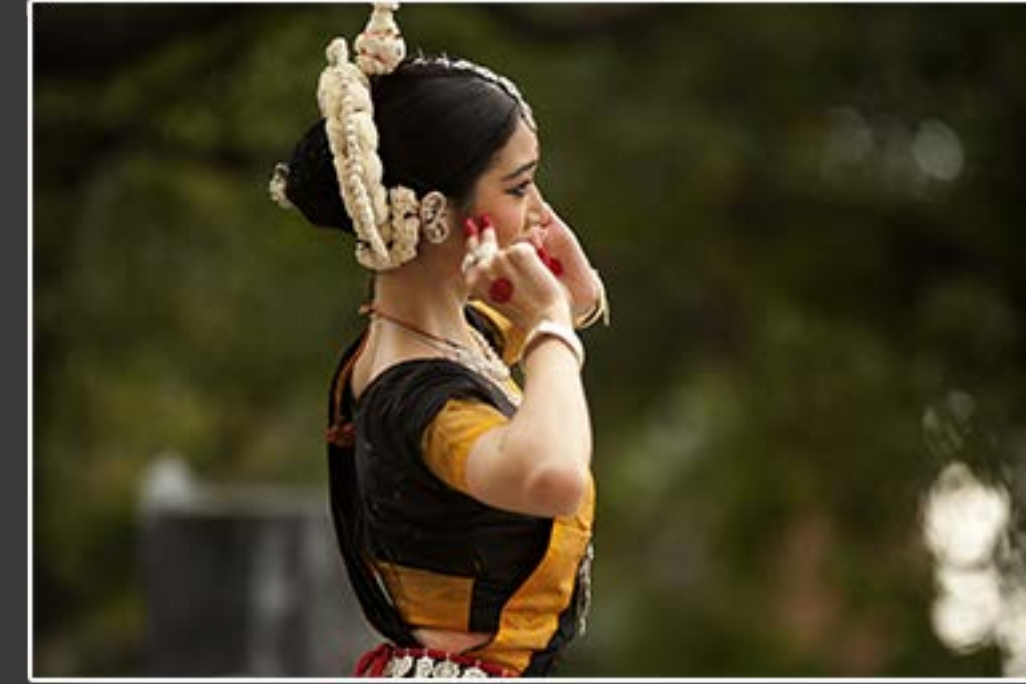
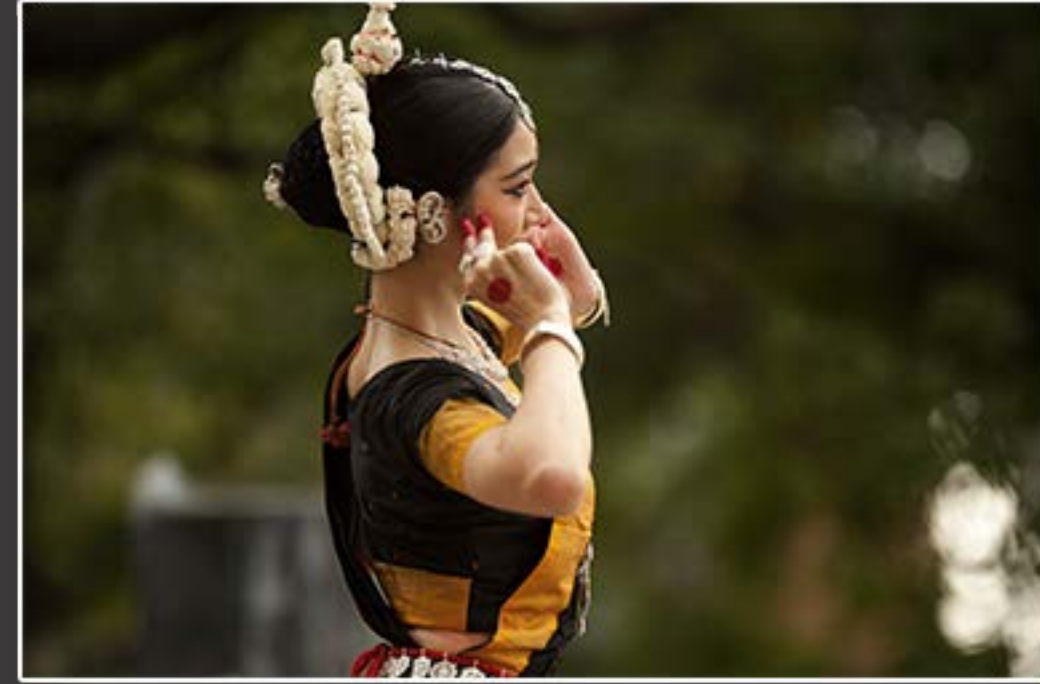


何の意図も無しに撮った写真はアートになるでしょうか。段階ブラシ、補正ブラシ、明暗識別補正を活用してみます。



傾きの補正により生じた空白部分を自動的に塗りつぶす方法を説明します。(これはPhotoshop機能)

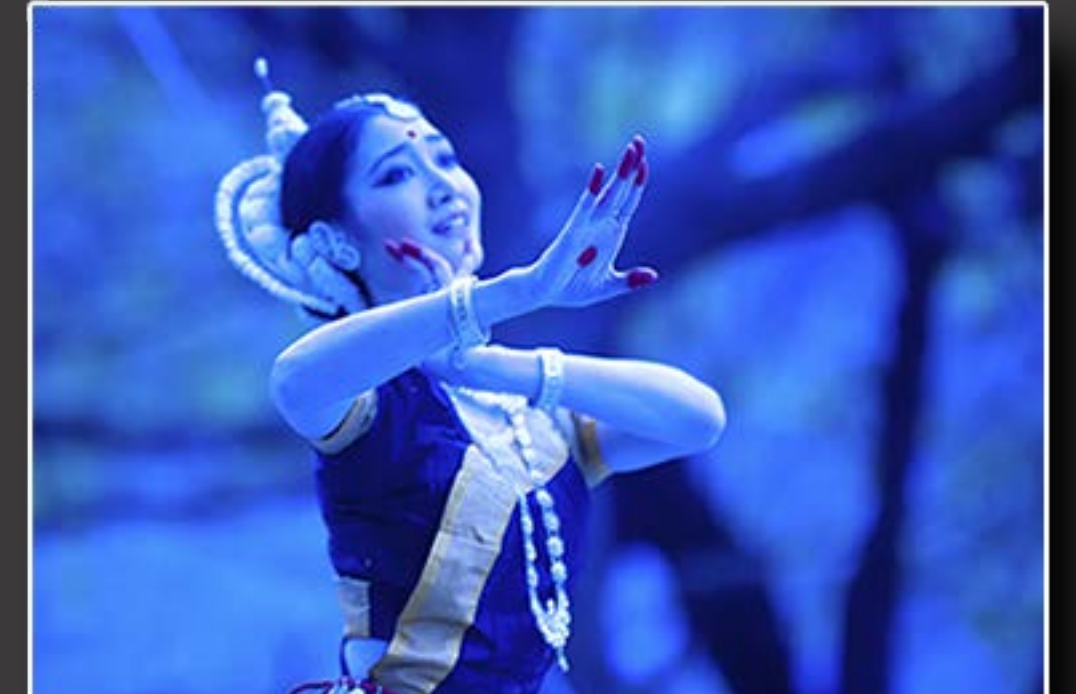
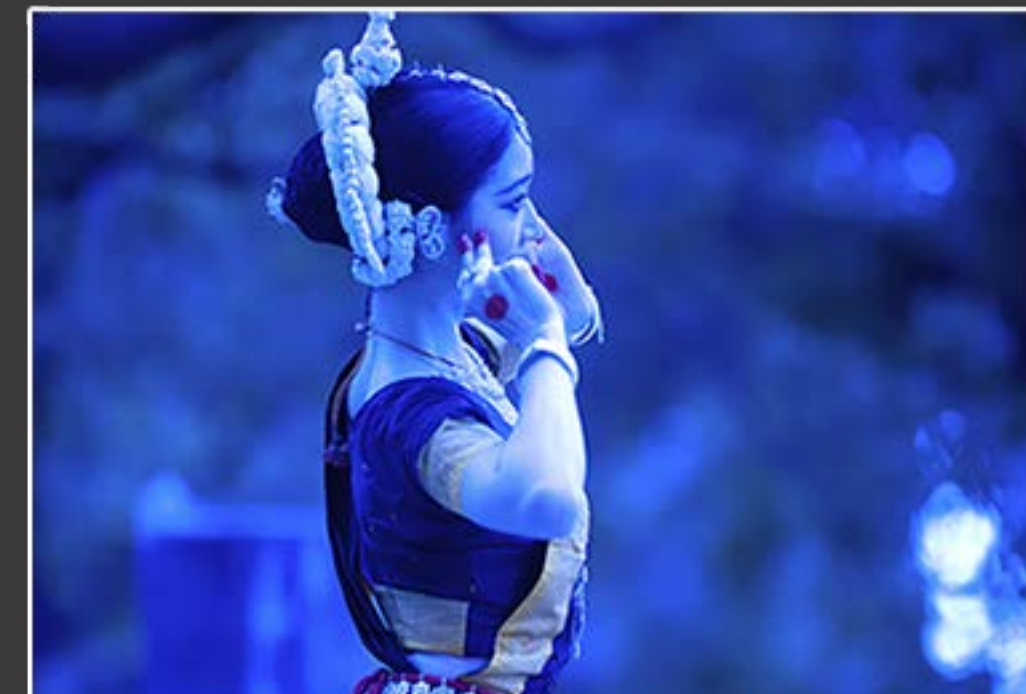
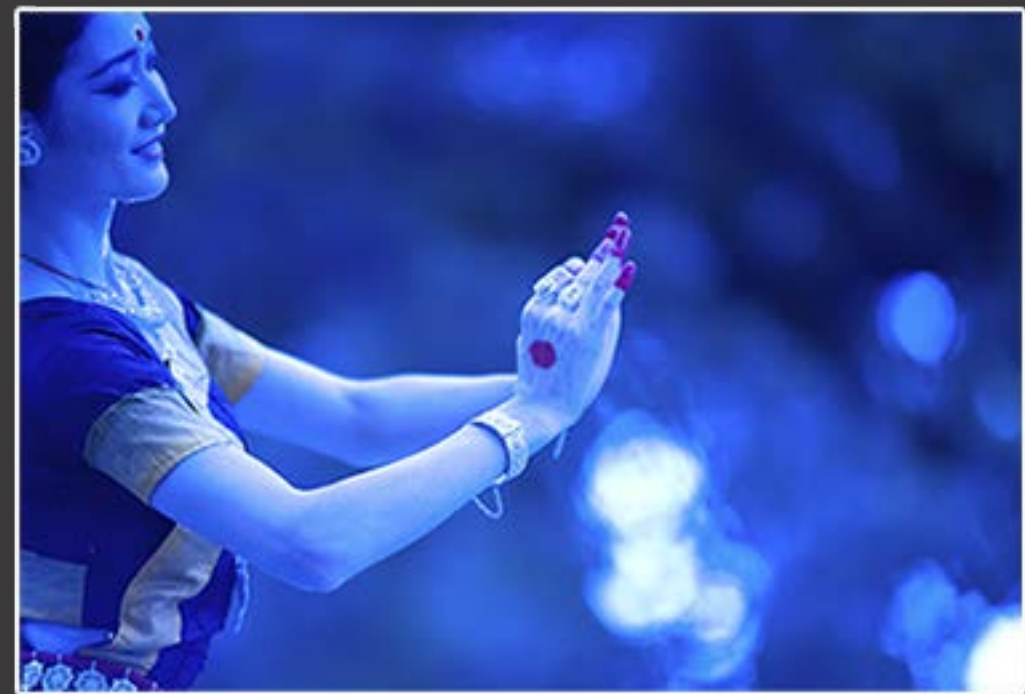
いきなりRAW現像・概要説明書



一気にまとめてRAW現像（この写真の場合はダンサーのお肌の色味を補正）する方法も解説しています。



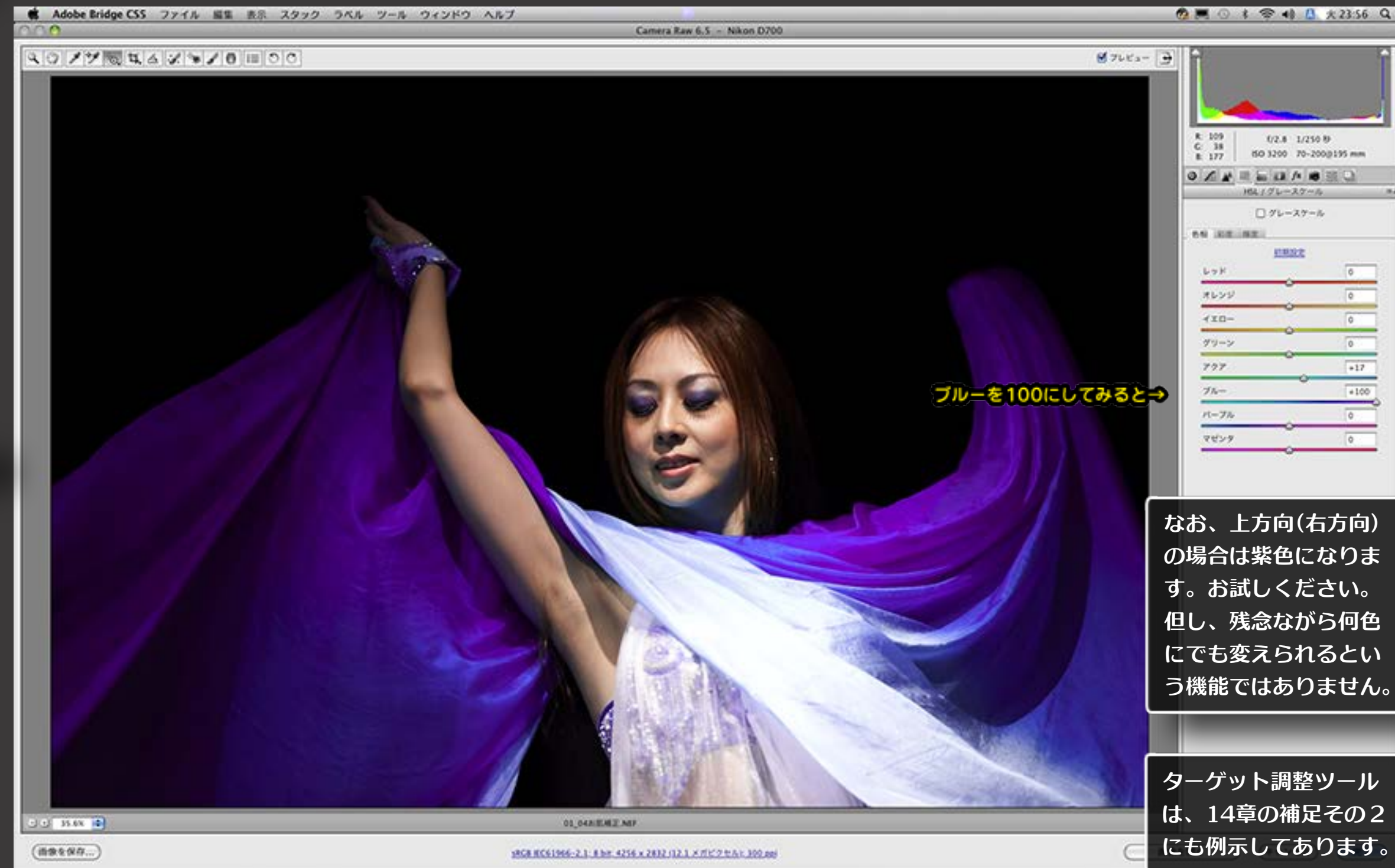
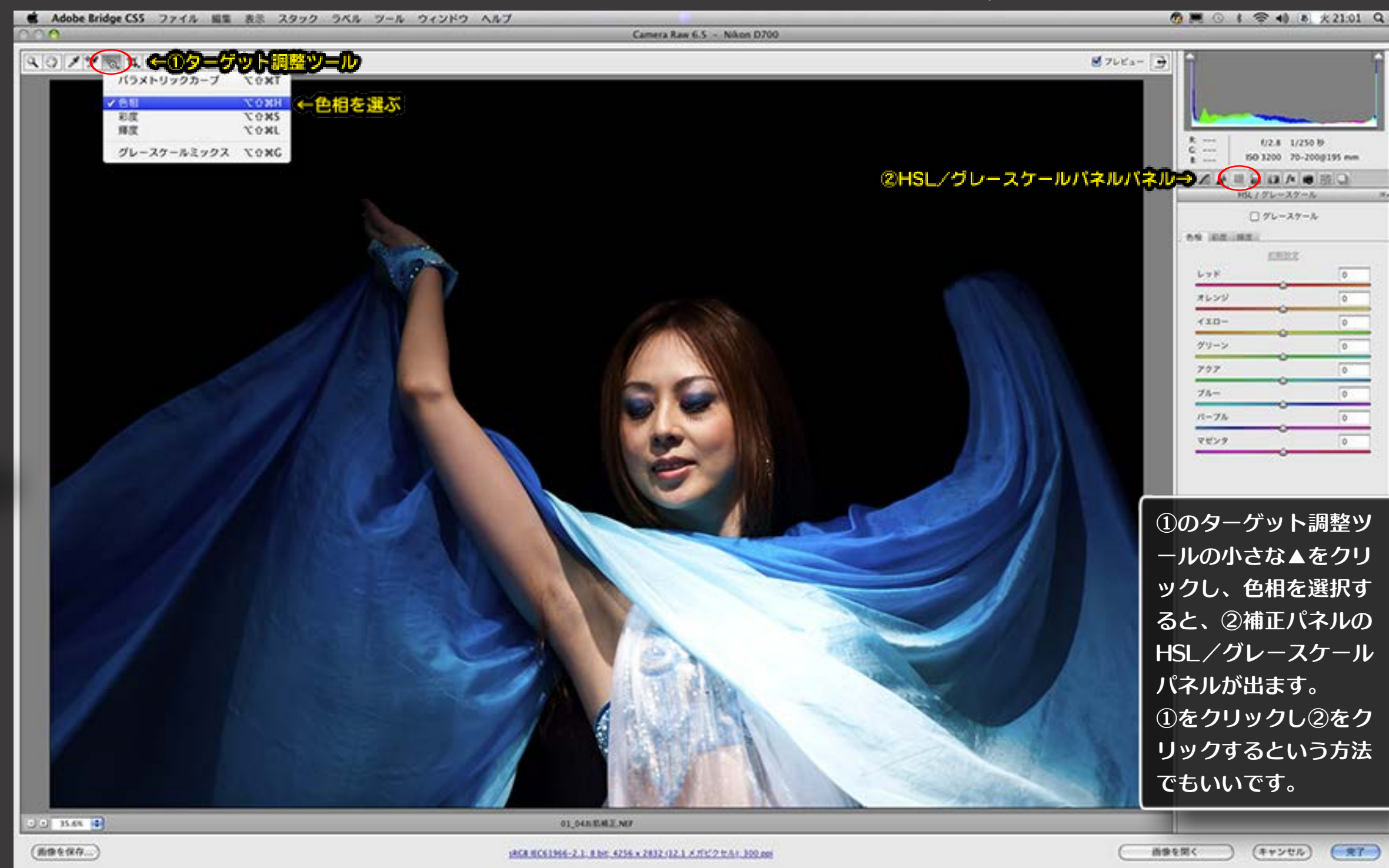
「青い妖精」というイメージとして、一気にRAW現像します。



この他に、RAWデータからJPEGデータへの書き出し方法（1画像ずつ、まとめてバッチ処理で）、機能別の見本、意外と難しいBridgeの使用方法についても細かく解説しています。

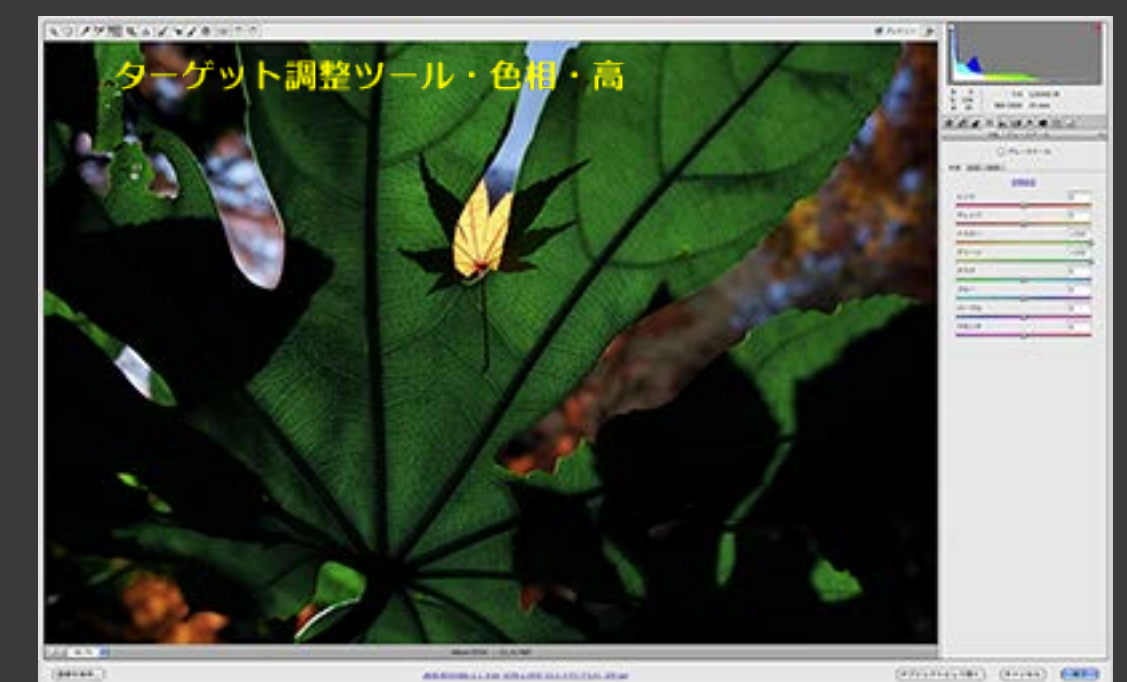
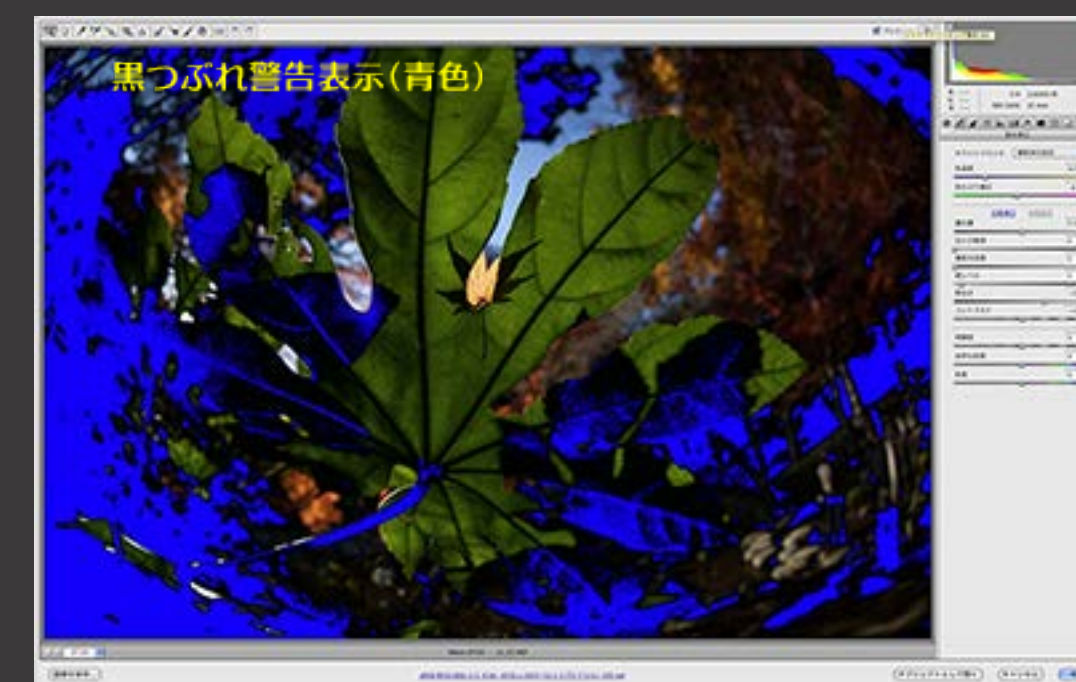
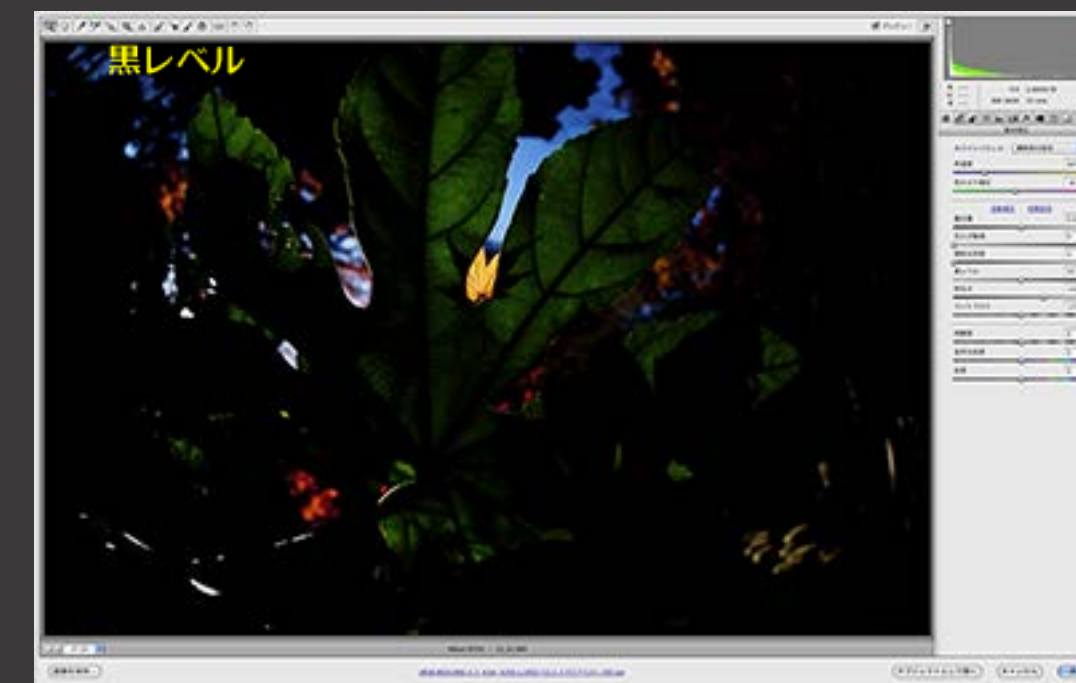
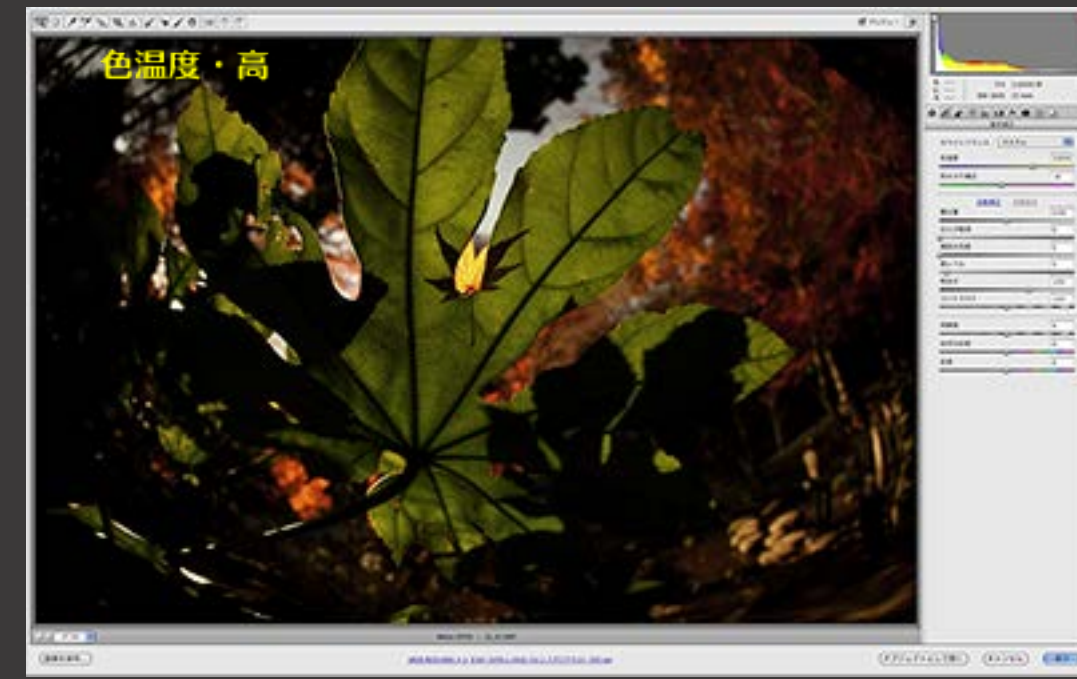
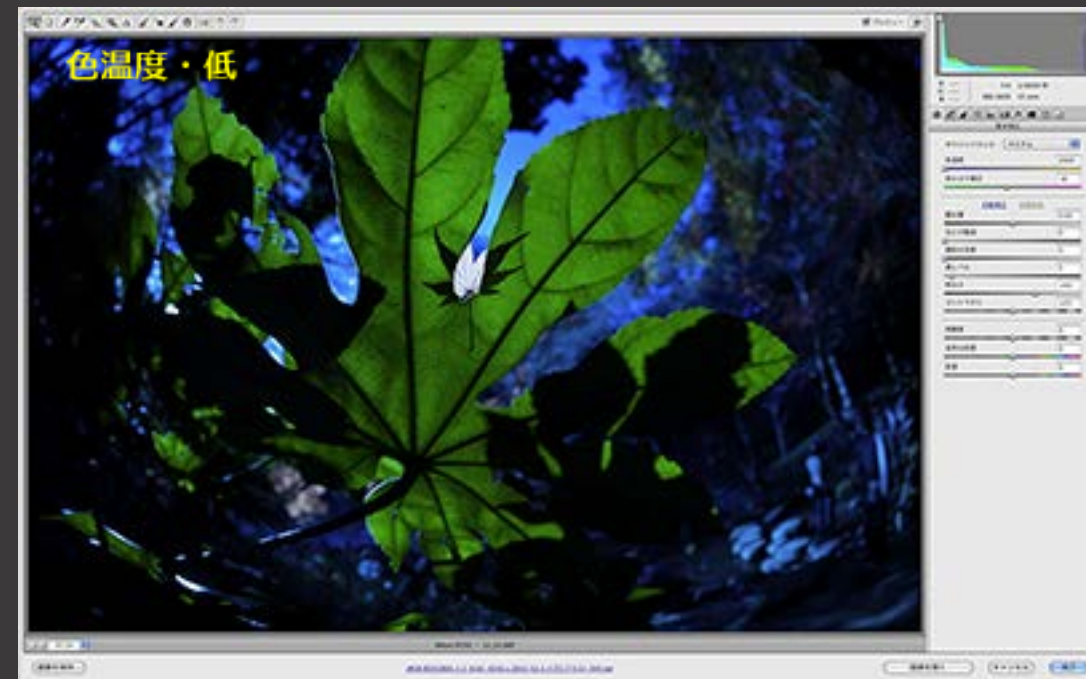
いきなりRAW現像・概要説明書

解説書の内容は、大きな写真、補正必要項目名、その値、および短い解説文から構成してあります。実際には1説明/1ページです。



いきなりRAW現像・概要説明書

機能一覧（全80）も、同一写真による比較例として掲載してあります。下記は縮小してあり、実際には1説明/1ページです。



●解説書の内容（PDFデータ）

- 01章 いきなりRAW現像（基本操作）
- 02章 写真をもっと良くしてみよう
- 03章 露出違いを救えるRAW現像
- 04章 アート写真にできるRAW現像
- 05章 手早くできますRAW現像
- 06章 もっと使おうRAW現像
- 07章 JPEG画像をRAW現像してみる
- 08章 モノクロ写真について
- 09章 これは苦手なRAW現像
- 10章 RAWデータからJPEGデータへ
- 11章 Bridgeの設定方法
- 12章 RAW現像機能一覧
- 13章 サンプルデータ一覧と使用方法
- 14章 補足その1および補足その2
- 15章 後書き

以上、総ページ数 290ページ

●添付

サンプル写真数 82点（RAW、JPEG）
プリセットデータ数 33点

●ご使用方法

手持ちのパソコンに任意のフォルダーを作成し、解説書（PDFデータ）、添付のサンプル写真、プリセットデータをコピーして下さい。各データはZIP圧縮されています。自己解凍できない場合は解凍処理を行って下さい。

サンプル写真とプリセットデータの開き方と使用方法は解説書中に記載してあります。

●ご使用環境

AdobePhotoshopCS5または同CS6
（同CS4ではできないことが少しあります）
2GB以上の空き容量があるハードディスク

●ご使用条件

本解説書に添付された写真画像の著作権は著者および記載した方々に帰属し、登場する人々には固有の肖像権があります。よって使用用途はRAW現像を習得することに限ります。他の用途に使用することはできません。

●著者

伊藤ひかる JTC（Joy To the Camera）代表